

2020年6月5日公開

2020年8月12日 死亡リスク修正

新型コロナウイルスに関する行動・意識調査（概要）

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会

市民の文明的な暮らしのための人間らしい環境整備を目的とする土木を、体系的に支える土木学会に設置された、人・交通・経済・社会などについて調査・研究する学術研究グループ

調査について

目的：新型コロナの蔓延、および、政府からの国民社会経済活動自粛要請に伴う

交通・都市活動、社会活動、経済活動に対するインパクトの把握

方法：Web アンケート調査（協力：(株)サーベイリサーチセンター）

対象：全国 1000 人（現実の年齢・地域の偏在を考慮してサンプルを回収）

調査日：2020年5月21日～24日

※詳細はこちら：土木計画学研究委員会 HP (<https://jsce-ip.org/2020/06/03/covid19-survey/>)

【問題点 1】

感染リスク・死亡リスクを数倍～数千倍に過大評価

『外出時』や『公共交通利用時』の

感染確率を現実の 3000 倍以上に

過大評価し、過剰に恐れている。

死亡リスク(感染者 100 人中の死者数)

についても、60 歳以上の感染者の

死亡リスクを 2.5 倍、40 歳以下の感染者の死亡リスクを 159 倍と、

いずれも過大評価している。

つまり、40 歳以下の人が、外出して新型コロナに感染して死亡する確率を

49 万倍(=感染確率 3900 倍×死亡確率 159 倍)だけ過大に推計している。

		現実	人々の認識 (回答の平均)
感染 確率	一回外出	0.0050%	3900 倍 → 19.7%
	公共交通 一回乗車	0.0097%	3100 倍 → 30.1%
感染者 100 人中 死者数	60 歳以上	10.6 人	2.5 倍 → 26.3 人
	40 歳以下	0.068 人	159 倍 → 10.8 人

【問題点 2】

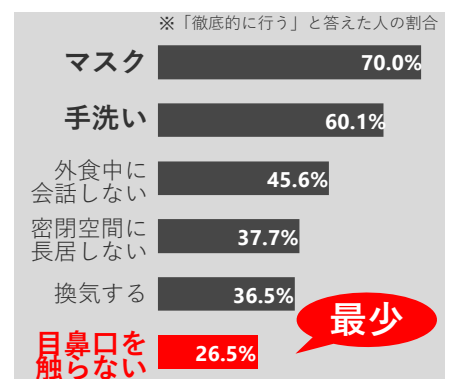
接触感染防止に最も効果的な「目鼻口を触らない」の不徹底

手洗いは 60.1%、マスク着用は 70.0%の人が徹底。

しかし、接触感染を最も効果的に回避する

『目鼻口を触らない』を徹底的に行っている人は

最も少なく 26.5%に過ぎなかった。



その他に明らかになったこと

【知見 1】緊急事態宣言については 65%以上が支持

【知見 2】「家にいる」ことについて、34.6%が「ストレス」、46.3%が「楽しい」

【知見 3】「出張」「外食・会食」「娯楽・行楽」が大幅に減少

【知見 4】参考にするのは、キャスターでも評論家でも政治家でもなく「専門家の意見」